

II 教育目標及び教育方針

1 石川の教育振興基本計画

(1) 基本理念

未来を拓く心豊かな人づくり

(2) めざす人間像

- ① ふるさとに誇りをもち、広い視野にたって社会に貢献する人間
- ② 生涯学び続ける意欲に満ち、確かな学力を身に付け、個性や創造性に富む人間
- ③ 責任とモラルを重んじ、人を思いやる心豊かな人間
- ④ 健康や体力の増進に努める、活力ある人間

(3) 基本目標

- ① 石川の文化や風土を生かしながら、世界に通じる人づくりをめざします
- ② 確かな学力をはぐくみ、一人一人の個性と創造性を伸ばす教育をめざします

石川の子どもの学力を伸ばす

「いしかわ学びの指針12か条」

活用力を高める授業づくり

- 1 根拠や筋道を明確に表現させる
- 2 物事を多様な観点から考察する力の育成に向け、多面的・多角的に思考させる
- 3 修得した知識や技能を活用・応用させる

学力・学習を支える基盤づくり

- 4 「書くこと」「読むこと」を通して、考え方を身に付けさせる
- 5 相手を意識して、「話す力」「聞く力」を身に付けさせる
- 6 学び合い学習を充実させる
- 7 よりよい学習習慣・生活習慣を身に付けさせる
- 8 読書活動をより促進・充実させる
- 9 家族とのコミュニケーションを促進させる
- 10 社会への関心や将来の目標を持たせる

指導改善を進める体制づくり

- 11 学校研究や授業研究を活性化して、指導力を高める
- 12 積極的に保護者や地域に向けて発信する

- ③ 豊かな人間性を育むとともに、健康や体力の増進に努める、たくましい人づくりをめざします
- ④ 時代の変化に対応した、魅力ある学校づくりをめざします
- ⑤ 子ども達の教育に責任を持てる教師の育成に努め、活力ある学校づくりをめざします
- ⑥ 学校、家庭、地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上をめざします

(石川県学校教育指導の重点より)

2 輪島市学校教育の基本方針

1 輪島市学校教育振興基本計画より

- (1) 目指す子ども像 未来を切り拓く、たのもしい子どもの育成へ
- ◇学校・家庭・地域が力をあわせ、社会全体で子どもたちの「生きる力」を育む
 - 「生きる力」とは、知・徳・体のバランスのとれた力 「輪島っ子育ちの五か条・学びの五か条」
 - 「確かな学力」→各教科の基礎的・基本的な内容、課題解決の学び方を身につけ、自分の考えをもち、自分の言葉で表現できる力
 - 「健康・体力」→生涯にわたり、たくましく生きるための健康と体力
(運動に親しむ心と健康や安全への意識の向上)
 - 「豊かな人間性」→自らを律しつつ、他人とともに強調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性
- (2) 目指す学校像
- ◇教育の基盤となる学校像（目指す子ども像の実現には基盤となる学校像が重要）
 - ・魅力のある学校（学力向上や体力、徳育などで学校の取組）
 - ・活力がある学校（児童生徒や教職員に活力があり生き生きと活動）
 - ・信頼される学校（児童生徒・保護者・地域から信頼され連携がある学校）
- (3) 基本構想
- ◇わかる楽しさと探求する学びを基に、夢の実現に向けて努力する子を育てる
 - ◇郷土を愛し、人を愛し、助け合いながら成長していく健康で心豊かな子を育てる
 - ◇複雑化・加速化した社会の変化に柔軟に対応し、社会を生き抜く子を育てる
- (4) 基本計画
- ◇～学力向上の視点～ 学習意欲の向上と確かな学力の定着を促す学習指導の工夫と個に応じた教育
 - ◇～心の教育の視点～ 規範意識の向上や公共心にみちた心豊かな子どもの育成
 - ◇～健康な体の視点～ 健やかな体を育成する取組と食育の推進
 - ◇～縦系列の意識化の視点～ 幼保小中高が連携した教育の充実
 - ◇～魅力ある学校づくりの視点～ 学校の組織力の向上と信頼される学校づくり
 - ◇～信頼される教師育成の視点～ 専門職としての誇りと力量をもった信頼される教職員の育成
 - ◇～成果基盤型学校経営の視点～ 評価・検証・考察等を踏まえた戦略性のある教育
 - ◇～教育環境の整備の視点～ 安全で教育効果が見込まれる教育環境の整備
 - ◇～学習拠点の整備の視点～ 学校図書館の充実と ICT を活用した学習の場の増加
 - ◇～オール輪島の教育の視点～ 学校・家庭・地域が連携しながら子どもを育む基盤づくり
- (5) 5つの重点施策
- 学力の向上
 - ・児童生徒の学ぶ意欲と教員の学習指導法の向上 ・到達度テストの実施と成果の意識
 - 規範意識の向上と学習規律・学習習慣の確立
 - ・幼保からの規範意識の向上の取組 ・発達段階に応じた学習規律の確立を全小中学校で実施
 - 教育環境の整備
 - ・学びの空間としての教育環境の整備 ・ケーブルテレビの教育への有効活用
 - 読書活動の充実
 - ・学校や家庭での読書の質的な充実と時間の増加 ・図書館司書補の活用による図書室活用の増
 - 家庭（地域）の教育力の向上
 - ・家庭での基本的な生活習慣の啓発 ・PTA総会や学級懇談等の充実による教育参画

2 平成26年度輪島市学校教育課主要施策

1 学校教育 輪島市学校教育振興基本計画の具現化を進める

チャレンジ&レスポンスの精神に富み、いかなる困難にもくじけることのない、たのもしい児童・生徒の育成をめざし、一人一人の子どもが生き生きと活動できるような教育課程の編成に努めるとともに、地域に根ざし開かれた学校づくりを指向しながら学校教育の充実・向上に努める。

2 学校教育の努力目標

(1) 確かな学力の育成と個性や想像力の伸長

○創意工夫と活力のある教育活動を展開し、基礎・基本の確実な定着と個性を伸ばすきめ細かな学校教育を行う。

①学習指導要領の趣旨や内容を確実に把握した上で、各種学力調査の結果を活用しながら各校の児童生徒の実態に応じた効果的な教育課程の編成と工夫に努める。

- ・いしかわ学びの指針12か条を踏まえた授業実践を推進
- ・各種学力テストの効果的な分析と指導方法の工夫と授業改善（市テストの実施）
- ・全国学力・学習状況調査結果について、保護者や地域住民に対する公表
- ・英数における小中連携を図り、縦系列の系統的な学習指導の充実
- ・学力向上プランの有効活用 ・各種情報機器の有効活用によるICT教育の充実
- ・輪島市指定学校研究の充実
- ・ケーブルテレビを活用した算数／数学 ・外国語活動（外国語）教育の充実
- ・わじまっ子テレビ塾の視聴状況調査 ・中学生を対象とした英語検定の全員受験

②習熟度別学習や個に応じた指導方法、指導体制の工夫・改善に努め、基礎・基本の確実な定着に努める。

- ・習熟度別少人数授業の工夫 ・各種学力向上推進補助事業の活用 ・土曜授業の実施

③特別な支援を必要とする児童・生徒が、その能力等を最大限に伸ばし、成長・発達していくための個々のニーズに応じた指導体制を構築する。

- ・特別支援教育コーディネーター研修会の実施 ・特別支援教育支援員の研修会の実施

④豊かな心や学力の基礎となる読解力を育成するために、読書活動の充実と整備に努める。

- ・全校における「朝読書」の推進・実践
- ・学校図書館司書補助員の有効活用と研修会の実施、市立図書館との連携の推進

⑤小学校からの外国語活動を充実するとともに、中学校の英語への滑らかな接続を図る。

- ・英語ノートの活用 ・ALTを活用した効果的な指導の推進

⑥幼保・小・中・高の連携を密にし、きめ細かな指導に努める。

- ・幼・保・小・中の情報交換会を実施し、小1プロブレム・中1ギャップの未然防止
- ・門前地区中高一貫教育の充実 ・小中が連携した12年間の教育

(2) 人間性豊かで希望をもってたくましく生きる児童・生徒の育成

○学校・家庭・地域と連携を図りながら、心の教育と規範意識を高める教育を推進する。

①道徳の時間を中心としながら、教育活動全体を通じた道徳教育を推進する。

- ・重点項目の設定と心に響く道徳の授業の推進

②生徒指導の充実に努める。

- ・ストップ不登校の取組
- ・Q Uといじめアンケート調査によるいじめを許さない学校づくり
- ・学校へのスクールカウンセラー、生徒指導サポーターや教育相談員の配置

③発達段階に応じた勤労観・職業観を育成するために、キャリア教育や職場体験、感動体験を重視した学習指導に努める。

- ・一人ひとりに応じた適切な進路指導計画による実践
- ・地域とともに育てる「わくワーク体験事業」の充実
- ④社会性や規範意識の育成に努める。
 - ・社会のルールや判断に関する学習の推進 ・ P T A、学校、市教委の連携による合同会の開催
- ⑤小学校低学年から I C T化に対応した情報モラル教育を進める。
 - ・携帯所有について、「いしかわ子ども総合条例」の趣旨の保護者への周知徹底
 - ・子どものネット利用について、学習機会を設けての危険性の周知徹底
- ⑥地域の特性や教育力を積極的に活用した教育活動を推進し、「特色ある学校づくり」を進める。
- ⑦輪島市小学校合唱大会を開催し、児童の情操教育に努める。
- (3) 体育・食育の充実を推進し健やかな体の育成
 - 体力の向上、心身の健康、食に関する指導を家庭と連携しながら計画的・継続的に行う。
 - ①発達段階に応じた健康観の確立と体力づくりを推進する。
 - ・1校1プランの充実 ・体育専科教員の有効活用
 - ・輪島市小学生陸上競技大会の実施 ・スポーツ専門員による授業・部活への活用
 - ②正しい食生活や食習慣を目指す食育を推進する。
 - ・栄養職員の献立作成の研修会を実施する。
- (4) 児童・生徒の安全対策の推進
 - 児童・生徒の安全・安心な環境づくりをめざし、安全教育の推進と学校・家庭・地域がそれぞれの役割と責任を果たせるように支援をする。
 - ①危険予測能力と危険回避能力の育成を意図した安全教育の充実を努める。
 - ②学校安全ボランティア団体の取組を充実し、児童・生徒の安全体制づくりを推進する。
 - ③緊急メール配信システムを活用した児童・生徒の安全対策を推進する。
 - ④従来の避難訓練に加えて、津波を想定した避難訓練を実施し、防災教育の充実を図る。
 - ⑤ヘルメット着用を含めた自転車利用の安全対策を推進する。
- (5) 開かれた学校と地域に信頼される学校づくり
 - 家庭や地域に対して積極的に情報を提供するとともに、学校評価を経営改善に生かすことで教育水準の向上と信頼される学校づくりに努める。
 - ①学校公開や学校関係者評価委員会などを通じて、保護者や地域の方々の学校教育への参画と理解を求め、開かれた学校づくりを進める。
 - ②学校評価の実施と評価結果を公表し学校運営に反映する。
 - ③教育活動の充実のために地域の人材を積極的に活用する。
 - ④H Pや各種学校だよりに加えて、携帯メールでの情報の連絡に努める。
 - ⑤ウォーミングアップ登校日の実施 ⑥ケーブルテレビを有効活用する
 - ⑦輪島市学校力&親力セミナーを開催し、オール輪島の教育を推進する。
 - ⑧学校教育課主要施策シートを有効に活用する。
- (6) 教職員研修の充実
 - 教職員としての自覚を持ち、専門職としての資質・能力の向上を図る。
 - ①教職員の資質・能力の向上やミドルリーダーの養成を図るために、ライフステージに応じた研修を進める。
 - ②人事評価制度を活用した人材育成と学校の活性化を推進する。
 - ③教員の意識改革と授業力の向上のために、学校教育研究会及び校内授業研究会の充実を図る。
 - ④各校において、各種情報機器と情報モラルについての研修に努める。

3 輪島中学校教育の基本方針

—教育は国民として公民たるにふさわしい人格の完成を期して—

I はじめに

1 文部科学省、県・市教育委員会の方針や施策を受けて

(1) 中学校学習指導要領の確実な実践 【教育課程の円滑且つ遺漏なき実施】

生徒、地域の実態を踏まえた、輪島中学校スタンダードの実施・検証・改善へ

授業規律の確立、基礎基本の徹底

達成感の味わえる個に応じた授業

(2) いしかわ学びの指針12か条の実践 【自校学力向上プランの確実な実施】

県学力向上プラン実践例を参考に、輪島中学学力向上プランの実施・検証・改善へ

言語活動の充実、活用力の向上

県高校学力検査（高校授業）に耐えうる学力

(3) いじめ・不登校問題、体罰等の根絶 【心の教育の一層の充実】

関わりを大切に、生徒一人ひとりの心を揺さぶり、腑に落ちる道徳教育・人権教育の推進
＜様々な自然災害から立ち上がろうとしている人々の姿に思いを至らせながら：自助共助＞

しなやかな強さを持ち、たくましく
生き抜こうとする姿の育成

保護者も含めた人間関係調整機能を学ぶ場

(4) 防災教育の推進・学校安全体制見直し 【生徒の生命・安全確保を第一に】

校内体制の整備、PTAとの連携、地域と一体となった各種活動、ボランティア活動の推進

地域に貢献する学校

県 能登の里山里海保全活動との関連化

市 各地域の活動、校区一体感の創出活動との関連化

II 学校経営ビジョン

『学校の使命を地域貢献とする』

『創造と挑戦』

輪島中の校風、伝統と文化づくりへ新たな一步をふみ出す／一体感の創出

「行動する輪島」「学ぼうとする輪島」「発信する輪島」の姿をめざして

様々な体験・活動を通して、心を育み、学ぶ姿勢を確立する

『規範意識の確立、真剣に学ぶ姿勢の確立』 全職員一体となつての徹底

1 基本理念

『人財育成—教育は人づくり』

＜全ては未来を拓く生徒たちのために＞

2 基本方針

『確かな学力、しなやかな強さ、創造的に行動する生徒の育成』

3 基本姿勢

『常に最善を』

＜スピード感を持って一步前へ＞

質量共に高い教育サービスの提供、上級学校の学習・生活に耐えうる基礎的な生きる力の保証

意識改革から行動改革へ

＜徹底／粘り強く決して諦めない＞

“いって聞かせ、やってみせ、させてみせ、ほめてやり、自信を持たせる”

広く地域に出かけ活動させる 地域・社会からの評価が、自己肯定感・自己有用感の醸成に
「自己肯定感を育むことが、真剣に学ぼうとする姿勢づくり、意欲への第一歩」

率先駆者たれ、想定にとられるな、最善を尽くせ／スピード感&テンポ、想像的に

- ・出るくい、出ようとするくいを引き上げる
- ・改めることをはばからない・躊躇しない ーできることからまずやる

- ・できない理由をさがすのではなく、やるために心を奮い立たす
- ・待ちの姿勢をはなれ、自らに問い、できることは何かを考え、行動へうつす
- ・情熱を言動で、姿で、創造的に教育にあたる教師の姿こそ生きたキャリア教育そのもの

4 学校教育目標

- ・真剣に学ぼうとする姿勢の育成
- ・創造的に考え、判断し、行動する姿勢の育成
- ・しなやかな強さを持ち、たくましく生きぬこうとする姿勢の育成

5 めざす生徒像、教師像、学校像

めざす生徒像

自ら判断し行動する生徒

- ・意欲的に学ぶ生徒
- ・しなやかな強さを持ち、関りを大切にする生徒
- ・主体的、創造的に行動し、活力あふれる生徒

めざす教師像

クリエイティブな教師

- ・生徒を鍛えぬき、励ましぬき、守り抜く教師
- ・研鑽、協働、改善を旨とし、切磋琢磨する教師
- ・保護者と連携し、地域活性化の一翼を担う教師

めざす学校像

地域貢献をなす学校

- ・声高らかに校歌が響く学校
- ・生徒、保護者、職員が一丸となる学校
- ・地域と一体感のある学校

めざす保護者像

積極的に行動する保護者

- ・わが子の言動、身だしなみ、生活姿勢に注意深く関心を持ち、適度な距離感で抱きとめ、寄り添い、信じ励まし続ける保護者
- ・わが子への期待、ともに夢を語り合える保護者
- ・保護者同士、近所、地域との関わりを大切にする保護者

“どんなささやかでも、その将来に対して、保護者・大人に期待されない子ども・生徒ほどかわいそうなことはない。”

6 輪島中『かがやき』プロジェクト[2ヵ年構想] <<1年次>>

一歩前へ

学校内外、幅広く社会に出かけ、

「様々な体験、活動を通して、

心を育み、規範意識を持ち、真剣に学ぶ姿勢を確立する!

学校と地域が一体となって進める地域活性化推進活動

取り組みを通して **未来を生き抜く人づくり、顔の見えるふるさとづくり**

○地域活性化は、人のつながり無くしてできず、取り組みを通して地域の元気・かがやきにつなぐ

- ・ふるさと輪島の里山里海を愛し、市内異文化地域間交流を通して相互理解・融和を進め、万に備えての自助・共助体制構築への基礎づくりを図る。
- ・生徒・保護者が、地域に働きかけ、世代間、学校間、地区間をつなぐ。

オール輪島による子育て、教育、そして“かがやき”のある地域づくりへ

生徒・教師が動けば保護者が動いてくださる
学校が動けば地域が動いてくださる



自分にできること
自分達にできること

親子、教師、地域が一体となって、
学ぶ意味、学ぶことの大切さ、学べる幸せを意識し、生徒の学ぶ意欲につなぐ 今まさに、
輪島の新たな姿（行動する輪島、学びの輪島、発信する輪島）づくりへアクションを起こすとき！

Ⅲ 重点事項

輪島中『かがやき』プロジェクトH26<1年次>

「かがやき」プロジェクト—様々な活動を通して、

『心と規範意識を育み、真剣に学ぶ姿勢を確立する』

能登半島地震を経験し、東北大震災等多くの災害で犠牲となられた方々、今まさに懸命に立ち上がらんと努力なされている方々に思いをいたらせ、その姿・教訓に学びながら

—今を大切に生きる姿—

「あたりまえ」の普段を見つめなおし（感謝）、今、自分にできること（貢献）、今、自分がすべきことを考え行動し（真剣に学ぶ）、人のつながり（家族・地域）を大切に生きていく姿の育成をめざして！

1 真剣に学ぼうとする姿勢づくり／学力向上

- 学ぶ力を身につけさせ、学ぼうとする力を引き出し、
学んだ力を発揮する場を与え、自信につなげる。
- 知・徳・体バランスのとれた生き抜く力（確かな成長）の保証と指導責任。
授業の約束「4か条」の徹底 授業規律の確立／生徒指導は授業から

(1) 指導力向上 生徒の実態に合わせた、より個に応じた教育の推進（各種支援制度の活用）

- ①積極的な授業改善 「輪中授業スタイル」による生徒に“わかった”と達成感を感じさせる授業
 - ・生徒指導の機能を生かした授業
 - ・複形態や、習熟度別形態の手法を取り入れたきめ細かな指導技術の向上
 - ・毅然かつ、粘り強く、あきらめない個に応じた指導姿勢
 - ・進め方の共通理解を図った上での授業&授業アンケートによる検証
- ②「学びの指針」を踏まえた、輪島中スタンダードの実践、検証、改善
- ③外部研修参加、サポート・アシスト事業、内外授業評価の積極的活用

・昼食後「輪中タイム」による、一回一〇分の補充活動
・土曜授業年一〇回（一日三限）の実施
英語、数学科は毎回 国語四回、社会、理科は三回

(2) 学ぶ意欲の醸成

- ①基礎基本／書く力の定着 ・わかりやすい板書の工夫とノート指導の徹底
- ②活用力を発揮し表現力の育成につながる場の工夫 ・授業や行事等での設定
- ③言語活動の推進 ・読書推進、新聞活用、各種コンクールへの応募
- ④ICT活用 ・電子黒板やデジタル教材・教科書等を活用した授業の推進
- ⑤各種校内外学力コンテストによる評価 ・全校での英語検定挑戦等
- ⑥徹底した反復・補習 ・昼食後学習、長期休業中の一斉補習の設定・工夫
- ⑦家庭学習の習慣化 ・授業に即し、達成感・やりがいのある宿題の提示

2 関わりを大切に、創造的に行動する姿勢づくり

(1) 授業を通した生徒理解と生徒指導

いじめ、不登校、体罰問題等の根絶へ、抑止と対応の推進

- ①授業を通しての規範意識の醸成
- ②生徒、保護者に寄り添う姿勢に立っての相談体制の確立、推進
- ③QU、いじめアンケートの実施と活用
- ④学級活動を通しての人間関係づくりの推進

(2) 心の教育（心に響く・生徒の腑に落ちる指導）の推進

－いじめ、不登校、体罰問題等の根絶へ、抑止と適切な対応へむけ、体制整備と取組の推進－

疎外感を味わわせない雰囲気づくり

- ①今を大切に、自助・共助の姿勢を育む道德教育 ・石川県版道德資料・私たちの道德の活用
- ②しなやかな強さと違いを受け入れ共に生きようとする人権教育
- ③夢・志を語れるキャリア教育（教師・保護者が生徒に期待し、夢を語れる姿）

(3) 生徒会活動の推進（自分たちで、できることを行動に）－自律的姿勢の育成－

自己指導力を発揮する場づくり

- ①より良い校風づくりへの自主的・自律的集会活動の推進
- ②関わりを念頭に、創造的に考え、行動し、地域貢献する生徒会活動
- ③連帯感を醸成する集会時等における校歌、応援歌の積極的斉唱、応援団活動

(4) 豊かな心と規範意識による輪島中生活版スタンダードの確立、検証、向上へ

- ①時間を守る ・遅刻の撲滅
- ②挨拶の励行 ・率先励行、TPOに応じた挨拶
- ③身だしなみ ・人はまず第一印象／外見から すべては、他に不快感を与えないために
- ④交通マナー ・自転車ヘルメット着用の厳守

3 健康の保持増進と体力向上、部活動の活性化

(1) 体力づくり／一校一プラン —「駆け上がれ、宅田の台地まで！」

・持久力の向上（万一の津波想定に対し、自らの命は自分で守りきる。）

(2) 食育の推進／栄養教諭との連携

- ・正しい食生活や食習慣の啓発
- ・給食指導を通じた食マナーの向上（キャップ、エプロン、マスク着用の励行）

(3) 感染症への対策／養護教諭との連携

- ・ノロウイルス、インフルエンザ予防、対策の徹底
- ・保護者と一体となつての予防対応

(4) 部活動の活性化／伝統をつくる

構成メンバーに応じ、生徒のニーズに沿った活動の推進

【中学校部活動に対する意識改革・体罰の根絶：生徒にとっての環境整備、コーチング姿勢】

- ①顧問複数配置による指導体制の整備
- ②輪島市スポーツ推進室職員や外部委嘱コーチによる指導体制の強化
- ③各部保護者会との連携
- ④練習会場の確保、移動手段の確保
- ⑤原則、土・日のうち一日は部活動休みの日とし、生徒の心身の疲労面を考慮する

4 安全安心な学校作り、連携と貢献

地域貢献

学校の活気を地域の活気につなげる

－学校の元気・かがやきなくして地域の元気・かがやきなし

(1) 生徒所在の確実な掌握

- ①登校時、授業時、休み時間、放課後・部活動時、下校時の把握体制の確立と実践
- ②緊急時、災害時の安否確認所在掌握体制・生徒引渡し体制等の整備
- ③緊急時一斉メール配信体制の充実整備

(2) 防災教育の推進

災害時避難3原則の徹底・防災の主体者へ

- ①万一に、自らの命を守り、生き抜く知識や技術の習得
- ②各教科の特性に応じた防災内容題材での授業
- ③より実践的な各種訓練の実施 保護者と一体となつての活動（PTA活動）の推進

(3) 保護者と一体となつての活動／PTA活動の推進

- ①各種便りの活用／HPや各種たよりによる双方向の情報発信
- ②地域自主防災活動の理解と参加 ・防災士、災害ボランティアコーディネーター資格
- ③地域自主防災への取り組み ・啓発活動、各種避難訓練、図上訓練（ハグ、そなえ）

(4) 幼保小中高の学校間その他関係機関との連携強化

- ①校区幼保、小、中、高連絡会、
- ②校区公民館（婦人会、青壮年部、老友会等含む）との連携、校区各町内会との連携、学校と警察連絡会等
- ④地域間交流&地域伝統文化継承 【共助関係づくり】 ・里山里海地域間交流プロジェクト
- ⑤児童相談所、適応教室「やすらぎ」、七尾特別支援学校輪島分校、医療機関等との連携
- ⑥教育センター事業等の活用（専門家招聘研修等）

(5) 各種報道機関との連携による広報活動の推進

- ①地域への積極的発信
- ②市広報、ケーブルテレビ、市記者クラブ報道各社との連携

(6) 学校支援体制の整備

校区地域・世代バランスを考慮した幅広い組織体制の整備

- ①輪島中PTA
- ②学校評議員（3名）
- ③学校関係者評価委員会（委員長1名、地域委員8名、保護者委員2名、他若干名）
 - ・年2回の自己評価、関係者評価による学校教育活動、運営等の検証、改善へ